

第8回学校適正規模・適正配置審議会 会議録

- 1 期日 令和5年10月20日（金）午後6時30分から午後8時15分  
 2 場所 庄内町役場 B棟 入札室  
 3 出席者 齋藤透、門脇伸、門脇良至、丸屋恭子、齋藤正典、佐藤義徳、佐藤一典、齋藤慎一郎、佐藤彰、菅原弘昭、菅野由香里、齋藤裕子

4 内容

1 開会	18:30
2 会長挨拶	菅原会長あいさつ
3 教育長挨拶	佐藤教育長挨拶
4 前回の協議内容について	議事録の確認
5 報告	事務局から「地域意見交換会の概要について資料3」「将来に向けた小学校の整備についてのアンケートの実施と結果について資料4 資料5 資料6」について説明
事務局	何か不明な点などございませんか。 只今の報告を踏まえたうえで、協議していただければと思います。
事務局	6 協議に移ります。座長を会長にお願いします。
会長	答申（案）につきまして、事務局より説明をお願いします。
教育課長	（資料に基づいて説明する。）
会長	只今の答申（案）の説明につきまして、ご質問とか、確認したい点はありませんか。ないようですので、協議に入らせていただきます。大きく分けると、2点についてということになります。答申（案）の11ページの小中学校の適正配置（通学時間）についての中学校の部分がどの程度であれば望ましいかというところが空欄になっていました。ただ、（3）の関係で、中学校は1校が望ましい、校舎は既存の余目中学校を長寿命化改修とすることが望ましいということを受けて事務局として算出したおよその時間が約45分というような試算を出しているというようなことでした。アンケート結果では、小学校、中学校ともに約68%くらいが30分程度という回答をしていたわけですが、その辺ご意見をいただきたいと思います。
会長	これは、スクールバスの運行方法によっては多少、もっと短くなるというようなことも考えられるのでしょうか。
教育課長	現在、立谷沢地区から出発した場合、清川地区を通ったり、いろいろな地区を回り子どもを乗せながら立川中学校の方に通っていますので、それで、ある程度時間はかかっていますが、そこを立谷沢地区だけの子どもを乗せて、仮に余目中学校に通学するというのであれば、時間は短縮できるのではないかと思います。
会長	いかがでしょうか。審議会の意見として、スクールバスの運行の仕方をより工夫していただくというような内容を盛り込みつつ、現段階では45分くらいは

	かかるということを踏まえると上限は45分くらいになるのかなというような状況にあるのではないかと思いますがいかがでしょうか。
委員	よろしいと思います。
会長	それでは、先ほど事務局から説明があった部分、より工夫を重ねていただきながら通学時間をより短縮できるような形で、45分よりも短縮できるような形で努力をしてもらいたい旨を付帯意見として付けさせていただくということで、中学校の部分を確認させていただいてよろしいでしょうか。
委員	はい。
会長	ありがとうございました。それでは、次に、答申（案）の12ページの大きな8の部分になります。その前に7の④について、いろいろとアンケートをとらせていただいたということで今回もアンケート結果から皆さんが感じたこと。そういったことをご意見いただければありがたいです。
A	今回の資料を読ませてもらったんですけど、その中で、IT関連の整備を重要視されているような意見もありました。自分もWi-Fi環境だったりとか、そういった面は整備していかなければいけないと思っていますし、もう一つは、学校に通えなくなったりする子どもがどうしても出てくると思うが、そういう部分での遠隔でできる体制、家にいても授業を受けることができる形というようなものも進めてもらえればと感じました。
会長	ありがとうございます。その辺り、答申（案）でいうと9の学校整備を進めるにあたっての具体的な意見の中に取り入れさせていただきたいと思います。非常に重要な視点ではないのかなと思います。
会長	私も資料を見てきて、一小から三小までの部分と四小と立小の部分は違うなというふうに思ったところです。四小を見た限りでは、四小は余目一小から四小の統合か、余目一小から立川小までの統合を望んでいる割合を合わせると6割近くなのかなと。そうすると四小の保護者の皆さんは、より規模が大きくてしかも、複数学級で学ばせたいという思いがここにはあるのかなと読み取ったところです。立川地域を見たときに、四小との統合をしたうえで、立小の存続を望んでいるのかなと。ただ、四小ではその部分がわずか5%にしかなくなっているということで、この辺の捉え方の違い、それから、立小は四小の統合をしたうえで四小の校舎を使用するということでは7%程しか望んでいないというようなところで、この辺、四小と立小を考えるうえで大変難しい部分があるなと読み取りましたし、立小のパターン4も19.7%、2割程度いるんですよ。この辺もどうなのかなという。パターン3の②が圧倒的に多いわけですが、パターン4も2割程度いるという、この辺の捉え方をどうしたらいいのかということも考えたところでした。 立小を残してほしいという思いで、パターン1とパターン2とパターン3の②を合計すると61.8%なんでした。そういうことも非常に重いなこと

	も感じたところです。
A	今回、立川小学校を残すということについて、このアンケート中に安全ということ考えた際に、立川小学校の近くに交番があるということ考えたときに、何かあったときに守ってもらえるという安心感もあるので、その辺を考えれば、立川小学校を残すということも私としては、安全面を考えるといいのかなと感じました。
会長	他にお願いします。 これと決めるのは、なかなか難しい状況にあるとは思いますが、感じたことで結構ですので、ご意見をいただければと思います。
B	認定こども園からふるについて、第四学区から利用してもらっている保護者の方もおります。第四学区の地域の方々の中でも立川に対するこれまでの歴史的な背景を含めたり、いろいろな思いがまだ交錯している部分はあるんだけど、立川は身近な教育の場だと考えている方も若い世代の中にはいるんだなというふうには感じております。ただ、立川地域に住む今の0歳児の子どもを育てている世帯の一部の人の話を聞くと、自分たちの世代、いわゆる20歳台後半、これから子どもをもうけて育てていこうかなという世代が故郷を離れていっているということも聞きます。今年度の出生数も80人程度、昨年度並みだというような話があったわけですが、立川地域を見ていきますと、やはり、どうなっていくのかなと心配な要素が強くて、そう考えると、本来立川に残しておきたいな、立川に一つの学校という形で、立川と余目の方ということで、段階的な統合ということで、このアンケートの中にそういう気持ちを持っている方もいると思うんですけども、現実を考えるとやはり段階的な統合も5年とかのスパンでなくて、ほんとに短い時間の中でそういう状態が迫ってくるのかなということで、ほんとにいろんな地域の人たちの思いや願いを考えれば考えるほど、難しいなと思うんですけど。
会長	段階的という表現のスパンの考え方についてですね。新しい校舎を整備するまで10年程度かということで、この間、話があったわけですし、それよりもっと早く、いろんなことが進行する可能性も無いわけではない。
会長	ざっくばらんに感じたことを話していただけるとありがたいのですが。
C	アンケートを見たときは、会長と同じ思いでした。一、二、三学区と立川地域と四小学区では考え方が違うのかなというところです。率直にそういうことを感じました。ただ、四小学区、立川地域の保護者の方々も大半が複数学級を望んでいることは間違いないと思うので、そういう方が多かったので、それぞれ1校とするということは、将来望むべき形ではないのかなと思いました。なので、一、二、三学区は統合するとして、四小と立小は一つということではなくて、どちらかの方に一緒になることが望ましいのかなと思いました。今のアンケートから見ると、四小学区の方々には地域的に余目地区と一緒にすることを望

	<p>んでいる、もしくは、そうでなければ1校になりたいというアンケート結果だったと思います。立小の方については、校舎の場所は違えども四小と一緒にいるということは、割合としては高いわけです。もう一つ考えたときに、将来最低でも10年後のスパンとなったときに、今の20歳代、もっと若い10歳代の方が余目地区、立川地区にこだわりをもっているのかなというところが気になりました。先ほど言われたとおり安全、やはり子どもを通わせるのであれば、安全安心の学校が一番いいと思うし、そこまで地区にこだわっているところがあるのかなというところを一つ疑問に思ったところです。感じたところということでは以上です。</p>
会長	<p>現在の庄内町になってだいぶ月日経って、一つの町としていろんなことを進めていく中で、一体化が図られてきているし、将来的にも若い世代がそういったこだわりをどのくらい持つだろうかというご意見だったかと思います。他にお願いします。</p>
A	<p>先ほどは立川地域の話をしました。10年後のことを考えていくと、どうしても小学校、中学校、ともに1校というふうを考えてしまいます。なので、せめて、小学校は2校にして、中学校は1校にするというところは、心情としてはわかるところがあるので、その落としどころをどのように決めていったらいいかということ、正直、自分も決められないですし、何を指針にして決定していくのかということはこの会議を通してずっと考えていたところではありますけども難しい内容だなと思っています。自分は民間企業に勤めているので、基本的にはコスト優先だったりとか、原理原則を突き詰めて仕事の道筋というところは決めてやっているんですけども、これに関しては心情であったりとか、いろんなところがあるので、そこばかりで決めてはいけなかなというふうに思いますし、町の財政のことを考えますと一番コストがかからないところを目指してやっていくべきかということで、いろいろ考えるところがあって、まとめると難しいなと思いました。いろんな考えがあって、そういう考えがあるというところをいろんなところで聞いたのがよかったと感じました。</p>
会長	<p>他にありませんでしょうか。</p>
会長	<p>私は、一学区、二学区、三学区の意見交換会には出席しましたが、四小学区と立川地域については、体調を崩して副会長から出ていただいた経緯があります。その辺、副会長、どんな感じだったでしょうか。</p>
副会長	<p>四小学区、立川地域、なんと言えいいか、すぐに一緒になるというふうな感じではなかったかなという感じはしたんですけども。私は古い人なので、やはり、合併して20年近くなるわけですが、立川地域から学校が一つも無くなるということが考えにくいなと私自身は思っています。中学校もそうですけども、中間地点に建てたらどうだというふうに言う方がいたわけですけども、その思いというのがわかるわけですけども、私自身の考え方がまとまらないという感じで、やっぱり、立川地域、四小学区は地域の思いが強いなと感じました。</p>

	それに比べて一小学区、二小学区、三小学区は、どうせ合併するんだという感じがしました。
会長	アンケート結果もそうですが、意見交換会の場でも一小学区、二小学区、三小学区と四小学区、立川地域とでは潮目が違うというような感じだったということでもよろしいでしょうか。
D	段階的という言葉が曖昧なのかと思って、これから数年後にもっと出生数が減って、やっぱり段階的どころじゃないぞとなる場合があると思いますが、そこで、やっぱり一緒になりますとなった場合、アンケートに関わった保護者がいるわけですし、話が違うじゃないかということにもなると思う。なので、結論は出ないんですけど、提案させていただければ、段階的という言葉は残してもいいんですけど、いつ判断するかとか、判断基準をどうするかとか、そういったところを示した方がいいのではないかと思います。
会長	先ほども話題になったわけですが、段階的という言葉のは状況の変化によってかなり異なるケースが出てくるだろうと。その基準を少し明確に示していく必要があるのではないかというご意見だったと思います。
D	私も一般企業に勤めていて、答申書のような重い文書に曖昧な部分は厳禁なので、ちょっとそこが引っかかりました。
会長	ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
C	小学校整備の具体的な枠組みというのは、盛り込む内容としては、案なので例えば、こことここを一緒にするとか、そういった内容で審議会の案を記載するということでしょうか。
会長	パターンというよりは、ある一定の方向性を示すということになるのかなと思っています。あくまでも「望ましい」という表現にはなるのかなと思っていました。 この将来に向けての小学校整備についてのアンケートの内容について、小学校のことばかり触れていて、中学校の整備について審議会でのどの程度進めているかということを示していないアンケートになってしまったのでした。その辺、ちょっと反省の一つでもあるのかなと思っています。つまり、その先どうなるのかということをお伝えできないままに、整備に視点を置いてアンケートをとらせていただいたということもあったわけなんですけども、その辺が先の見通しが少しわかると、また捉え方も少し違ったものになったのかなというところも思ったところでした。 女性の立場からどなたかご意見をいただければ、ありがたいのですが。
E	小学校のお子さんは、小学校1年生から6年生と幅が広いので、庄内町の地理的などころから考えれば、30分くらいで通えるところに小学校があるということがいいのかなと思っています。先ほどの副会長の話を聞いたときに立川地区に学校が全くなっているのかということと「からふる」さんとのつながり

	<p>ということを考えていったときに小学校は2校と考えたときは、小学校は立川の方がいいのかと思ったりするところがあります。ただ、財政面ですとか、将来的な出生数などを考えていったときには、段階的にでいいのか、最初から1校とした方がいいのか、遊佐町の事例などを聞いたりすると、短いスパンの中でまた統合となっていくたりすると考えていったときに果たしてどうなんだろうと検討するのが難しい事案だと思っています。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。他に感想でも結構ですのでお願いできますでしょうか。</p> <p>Fさん、いかがでしょうか。</p>
F	<p>アンケート結果を見るとアンケートをとる前の地域の考え方そのまま、四小は余目と一緒にしたい。立川との統合は嫌だ。立川は一つは嫌だ。ということでこの点については平行線のままで、そこを視点に話をしていかないと平行線のままだと思います。私は児童、生徒数を見ていたんですけど、小学生がこの先何人くらいになるのかは見当は付きませんが、単純な話、今出ている654人という小学生を一つの小学校にした場合に、たぶんですけど、大変です。相当大変です。何が大変かという子どもたちを一人ひとり育てていくということです。先ほど地域柄という話がありましたが、庄内町、端から端まで40キロあるので、果たして1つの学校ということは、通学の時間だけでなく、子どもを育てていくには大変になるだろうなということが予想されます。そう考えると、これからどのくらい児童数が減っていくかが関係してくると思うし、1校にまとめてしまうのは危険なことだと思っています。それじゃ、どこで線引きするかということになると、また、話が戻りますが地域住民の方の意をくむとなると大変になると思います。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。実際、学校に携わる先生として、経営する立場としては、大規模過ぎても難しい部分が学校経営の中にはあります。</p>
F	<p>酒田とかには、そのような学校規模があるわけです。例えば、1年生が入ってくると14、5人幼稚園、保育園から入ってきます。最初の頃は話を聞きません。庄内町の子どもたちは、それぞれの小学校の脇にある幼稚園から入ってくる子どもがほとんどな訳ですから。その辺は、小学校に入ってからアドバンテージはあるんだよというもの、あまりにも人間関係が濃すぎると、それもデメリットになりかねないし、逆に酒田のように大きい学校だと一人ひとりに目も手も行き届かなくなるというのが実際のような感じです。聞くところによると、統合したある学校では大変な状況だそうです。それは、一気に5校を統合して、いろんな規模の学校を一つにしたわけですから。子どもたちが住んでいた海が突然、同じ大きさの海になったものだから、それに適応するということは小学生にとってなかなか難しいところがあると思います。中学校にとっては大規模校というのは意味が違ってくると思います。</p>

会長	20～30年後の子どもたちにもいい環境、そして、今学んでいる子どもたちにもとってもいい環境というバランスが大切ではないですかというような、ご意見だったようにも思います。中学校は1校でという方向性で進んでいるわけですが、受け入れる立場として、小学校の在り方などについていかがですか。
G	別の中学校でも、いろいろな小学校から人が集まりますが、それが大規模校な小学校から来る場合もあれば、小規模校な小学校から来る場合もあります。その時を思い浮かべてみると、中学校としては「それなりに馴染む」感じがします。小さい学校から来ても馴染む。1年も経過するとどこの小学校だなんて関係なくなってるかなと思うし、その時にその学校の特性とか地域とかそういうところの関係もあるのでなんとも言えませんが、体力的なところも含め中学生と小学生の体力も違うのかなというところが少し気になりました。アンケートから地域の思いということを考えたら、すぐに一つに統合するということがいいのか、その辺は難しいところだと思います。環境が変わることで、デメリットが出てくることはあるかと思うし、通学時間も含め判断が難しいところだと思っています。
会長	小学校と中学校では体力も含めて、発達段階も異なるので、その辺の配慮が必要ではないだろうかという。中学校に入ってしまうと、あとは、みんな馴染むような形で生活はできるんだけどというようなご意見だったと思います。他にございませんか。
会長	皆さんからご意見はいただいたものの、判断する上で確固たるものが、まだ十分でないというような気持ちが伝わってくるような、もう少しいろいろな材料がないだろうかという、答申に向けてちゃんと説明できる材料がもう少し欲しいなというように感じたところですが、この辺事務局いかがでしょうか。
教育課長	前回のアンケートの結果だけでは、この結果をもって判断してくれというのは、少し難しいことなのかなと思っていたところでした。9月に実施したアンケートでは、条件として、中学校が将来的に1校になるという条件を示さずにアンケートをとったので、例えば四小の方で、将来的に小学校は四小と立小が一緒になったとして、中学校になるとまた、別々の中学校に通うことになるので、無駄だから、一小、二小、三小と一緒にしたいという回答された方もいたので、今度はもう少しその辺の条件をきちんと説明して、もう一度アンケートをとってはどうかと思ったところです。こういうことを聞けば、審議会として判断しやすくなるような設問を設けながらアンケートをとれないかなと思っています。
会長	事務局の方から、もう少し判断材料になるような形でということで、四小と立川地域に限ってということになりますかね。
教育課長	9月にとったアンケートをみると立川地域と四小が一小、二小、三小と傾向が違うので、ここだけに限って取るのかなということも考えられますが、どうせ

	とるのであれば、町内全体の方がいいということであれば、それはそれでいいかと思しますので、皆さんのご意見を聞きながら判断したいなと思っています。
会長	ということで、審議会、本来であれば今回が最後ということで、この場でまとめなければいけないとは思っていたのですが、皆さんのご意見を聞いてみるとなかなかそこまで今の段階では、もっていけないように思ったところです。事務局としてももう少し判断の材料を整えたいうえで結論を出していきたいという思いもあるようなんですけども、その辺いかがですか。
A	アンケートをとるということは、いいと思うんですけども、もう少し絞った状態での設問。例えば、AかBかという形をとって、そのうえでメリットデメリットも記載していただいて、「どっちですか」というような形のアンケートをとった方が、もし次で決めるとしたときに決めやすいのかなと思いました。できれば、指針というところは、2つくらいに絞って、もしアンケートをとるのであれば、そのアンケートを材料にして次回の審議会で判断できるよう形でもらいたいと思います。
会長	問いを絞りこんで、選択肢を絞り込んでということですよ。問いと選択肢を絞りこんだ形でということで、いかがですか。 もう一回、アンケートを実施する方向で動いてよろしいでしょうか。内容になってくるわけですけども、この辺ご意見をいただきたいなと思います。
D	もし、アンケートを実施するとしたら保護者ですか。
教育課長	保護者を対象にしようかとは思っております。今回の地域意見交換会でも「保護者の意向を」ということもありましたので、実際、お子さんがいる保護者の意見を大事にした方がいいのかなと思ひまして、対象は保護者にした方がいいのではないかと思います。
会長	アンケートの内容ということで、要望とか確認をさせていただければと思いますが、いかがでしょうか。
A	庄内町に今いる、10代、例えば高校生とかがこのアンケートを知ったときにどのように感じるのかということも聞いてみたいなと思いました。
会長	保護者よりさらに若い世代ということですね。将来、庄内町を担う方々もというようなご意見だったと思います。 事務局の方で、アンケートをとるとすれば、悩みどころだなというところがあれば、出していただければ。
事務局	もしアンケートをもう一度とるのであればということで、事務局の方で考えていたものにつきましては、前回アンケートしたどのパターンで整備を進めていくことが望ましいかという設問の本質は変わらないんですけども、それに加えて何か具体的な判断材料となるような設問が出ていないというのが現状です。



	審議会の中で、こういう材料があれば、話が進むのではないかなど提案いただければなと思っています。
教育課長	補足しますが、前回のアンケートは条件が曖昧なまま出してしまったので、中学校は別々に余目中学校と立川中学校はそれぞれ残ることをイメージして回答いただいた方がいましたので、設問に答えるうえでの条件はきっちり明示したいと思っています。中学校は将来的に統合して1校になるということを考えていますということを明示します。それから、四小と立小が一緒になった場合、ひょっとしたらクラス数が複数学級になると予想されている方もいるかと思いましたので、その辺も、一小から三小まで統合した場合何クラスが見込まれる、また、立小と四小が統合した場合は、何クラスになることが見込まれるとか、その辺の細かいところも条件を出したうえでアンケートを出すとうりやすいのかな、回答しやすいのではないかと事務局で話しをしておりました。
会長	現状の情報を具体的に示しながらということを事務局では考えているということですけども。
D	方針はしっかり記載した方がいいと思います。中学校については、統合して既存の余目中学校を使うということは伝えるわけですか。
教育課長	答申書の11ページの(3)のところで、中学校は1校が望ましい。校舎は既存の余目中学校を長寿命化改修することが望ましいということで書いてありますので、これに近い形の方針を今考えていますというようなことは、記載したいと考えております。
D	長寿命化改修というと、以前の審議会の中で説明がありましたが、役場のB棟くらいの改修になりますとか、スクールバスの話とか出ると思うんですけど、乗車時間を短縮する方法も考えていることを載せたり、今考えていることを最初に出してあげてもいいのではないかと思います。IT関係とかもこういう施設をつくっていききたいですとか、最初に教えてあげてもいいのかなと思います。アンケートの意見として、施設とかスクールバスの意見が出てこなくなるくらい最初に提示してあげてもいいのかなと思います。アンケートの回答は統合のパターンの話に絞って進むように、そういうやり方もあると思います。
会長	付帯事項も示されれば、長寿命化といっても具体的にイメージしづらい整備については、出せる範囲でより具体的にだしたらどうかというご意見だったと思います。
F	小学校の場所とかは示せないわけでしょ。
会長	これについては、この審議会ではなくて、次の段階の、例えば学校整備検討委員会とか、より、また別の検討員会の中で議論していただくことになるのかなと考えていました。
F	アンケートの中で、その辺が曖昧で、極端な話、立川に1校建てますよとなっ

	<p>たときに、ここでアンケートに答えた人たちは、「えっ」と梯子を外された感じになると思います。ここでのアンケートに回答した人は、余目に1校建てるイメージで回答するわけですよね。たぶんそうだと思います。結果が出てくるのは、立川と四小がそれぞれ、自分たちの思いをぶつけあう形になるんでないですかね。だから、どうなんでしょう、アンケートしてもしなくても同じような気がしますけどね。その部分は。</p>
D	<p>確かに場所をいれないと、また、どこがいい、どこがいいと自由記載が出てくるだろうと思います。</p>
F	<p>極端な話、一小、二小、三小はアンケートしたとしても傾向は変わらないと思います。四小学区と立川地域の方の考えは平行線のままだらないかということが心配です。</p>
会長	<p>アンケートの結果が心配されるという意見でした。</p> <p>アンケートをとる価値付けという、その辺りをどこに求めていくかという視点もあるのかなと思います。より丁寧に進めていきたいという、そういうこともアンケートの価値の中にはあるのかなと私は思っていたところです。</p> <p>いろいろな心配は考えられるわけですが、もう一度アンケートをとらせていただくということで、只今出た意見なども入れながらということで対応させていただければというふうに思います。</p> <p>後ですね、今日、答申書の付帯事項について、先ほどIT関係の整備なども出たわけですが、もし、今の段階でそういったことも答申書に盛り込むべきじゃないでしょうかという視点があったら、お願いできればと思いますが。もう一度、審議会を開催することになると思いますので、その時も取り上げていきたい材料だなというふうなことは思っていましたので、今すぐでなくても、次回まで、付帯事項について考えていただければ、付帯事項も非常に重要なのかなと思っていましたので、是非、お願いしたいなと思います。</p>
D	<p>二つあります。過去の審議会の中で出た始業時間を変えるなど、その辺も柔軟に検討していただきたいなと思っています。あとは、意見の中でもスクールバスの絡みで、距離ではなく、そもそも通学はスクールバスがいいのではという意見が出ていたようであるが、私もそのことは思っていたので、検討していただければと思います。</p>
会長	<p>地域意見交換会でスクールバスの件は、たくさん出た印象があります。気候の関係だとか社会情勢が非常に危険になってきているとか、いろんな条件が出てきているという状況で、スクールバスに関するご意見が多かったなという印象は受けました。あとは、教育課程の問題だと思うんです。授業の始めと終わりの時間だとか、そういったところも工夫しながら、これからの学校では、非常にポイントなのかなというふうには私も同感でした。</p>

A	<p>自分は清川小学校出身で、基本的には小学校は一クラスで過ごしてきました。そういったところで小学校での複数クラスという点でのメリット、デメリットというのが分からないのです。自分の子どもが今高校生になっているんですけど、その子たちに聞いても、一クラスで来た子どもたちなので、小中での複数クラスの良さがわからないので、今の子どもたちがどのように感じているかというところのアンケートというか、複数のクラスの子どもたちがどのように感じているかということも、聞くというか、知ることも大事なかなと思います。子どもファーストで考えるとそういうところも必要かなと思います。どうしても自分たちの目線で考えてしまうとコストカットだったり、どうしても外せない部分が出てきてしまいますけど、子どもたちのことを考えればそういうことも必要な視点かなと感じました。</p>
会長	<p>先ほどの若い世代という考えに通じるような内容なのかなというふうに思ったところですよ。当事者意識を持ってもらいながら考えてもらえればということを感じたところですよ。</p>
C	<p>立川地域と四小学区の方の回答者数を見ると、他の地域と比べて割と回答者数が多く、もう一回アンケートをとったとしても、おそらく聞き方を丁寧したとしても、一定の答えはここに出ているかと思うので、質問の仕方にも寄るかと思いますが、もっと具体的に、「そのまま」か「余目と統合」か「立川と統合」かというところまで決めると、回答は分かれると思うが、そのくらい突っ込んで聞かないと結果は同じだと思うんです。もし、アンケートをしてもらるのであれば、最低でも10年くらいかかる統合のスパンの中で、庄内町に住み続けたいと思ってもらうためにも、10代の人から意見を聞くことは重要だと思うし、私たちが思っている考え方と全然違う可能性もありますし、だとすると、私たち審議会の判断材料が増えることになりまして、是非とも、どの範囲まで聞くのかということにもなるかもしれませんが、中学生、聞き方が難しいかもしれませんが10代、自分たちが選択肢を決めたんだということであればかなり付加価値が付くと思います。そういった意見も聞いてもらえれば、ありがたいと思っていました。</p>
会長	<p>非常に難しい宿題なのかなと、重要な視点であることは間違いないだろうなと思ったところですよ。これからの流れですよ。ゴールがだいたい決まっているわけですので、それに合わせて、ちょっとタイトに動かなければならない状況になりますが、その辺の流れにつきまして、事務局から今考えられる範囲でお答えいただければと思います。</p>
教育課長	<p>今後の流れということですが、もう一度アンケートをとるわけですので、それに対して、その内容について皆さまから話し合っていたきたいので、もう一度審議会をしたいと思っています。予定で12月1日（金）あたり、開催できないかと考えております。その後、答申する内容が決まった場合は、事務局で精査する時間も含めまして、12月の上、中旬くらいまで教育委員会に答申書と</p>

	<p>していただき、パブリックコメントを1カ月くらいで行いたいと思いますので、1月の中旬くらいまで行き、その後、意見に対してどのように対応するかなどを考えたうえで、1月の教育委員会、2月の総合教育会議に諮り、出来れば、2月中くらいまでは、町としての考え方をまとめたいたいと思っております。審議会からは、12月の上旬でまとめていただければと思っています。</p>
会長	<p>今年度中に基本方針を策定するというゴールですので、この審議会としては12月の上旬くらいまでを目途に答申をとというような日数になっております。12月1日(金)になるわけですが、本当に最終の審議会という流れになるのかということになります。今、次回アンケートについて、いろいろな意見をいただいたわけですが、本来であれば、その内容も審議したうえでやればいいわけですが、なかなかその時間も残されていないと思われま。事務局、私も入らせていただいて、内容は詰めさせていただくということでご了解いただければと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	はい。
会長	<p>アンケートにつきましても、早急に対応していきたいと思います。それでは、本日の協議といううえでは、ここまでなのかなと思いますので、進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>それでは、7その他ということで、アンケートを実施して次回もう一度、審議会を開催するということになりました。日程につきまして、次回審議会を12月1日(金)18時30分からという予定で進めたいのですが、皆さまご都合いかがでしょうか。</p>
D	金曜日は外していただければ、ありがたいです。
事務局	<p>それでは、日程につきましては、11月30日(木)で進めたいと思いますが、現時点で、ご都合が悪い方いらっしゃいますか。日程につきましては、改めてご案内させていただきます。その他皆さまから何かございませんか。</p>
D	<p>私は、学校運営委員になっているんですが、学校運営委員の中でこの話をしていないですよ。話題としてあげることは問題ないでしょうか。</p>
教育課長	<p>地域意見交換会で資料を出して、ここまで話になっていますということは公表しておりますので、その程度であれば、何ら問題ないと思います。</p>
事務局	<p>それでは、改めまして、これもちまして本日の学校適正規模・適正配置審議会を閉会したいと思います。本日はありがとうございました。</p>
閉会	20:15